

## 介護食品（UDF）の認知度調査結果

協議会では、介護食品やユニバーサルデザインフードの認知度調査を定点調査として隔年で行っており、調査年の今年は4月に実施しました（前回は平成28（2016）年5月）。調査対象はインターネットアンケートに参加した一般消費者で、食事介護者の有無や年代別に集計を行いました。

この結果、介護食品が市販されていることを「知っている」との回答は全体で49.9%と前回の47.0%から2.9ポイント増加しました。このうち「家族に食事介護者がいる世帯」を見ると、60.9%が「知っている」と回答（前回61.1%）。「介護者がいない世帯」についても47.5%の認知がありました（同44.3%）。スーパーやドラッグストアでの製品の取り扱いが増え、販売環境の整備が進む中、一般消費者における介護食品分野の周知は着実に上がっていることがうかがえます。「ユニバーサルデザインフードを知っているか」については、全体で12.3%と前回並みでしたが（前回12.4%）、このうち、「食事介護者あり世帯」を見ると25.7%で、前回の24.7%から増加しており、介護の現場ではUDFの認知は進みつつあることがうかがえます。

また、介護食品が市販されていることを「知っている」について、年代別集計を見ると、50代、60代以上が各54.5%、60.5%と高く、20～40代についても40%以上が認知していました。「ユニバーサルデザインフードの認知率」については、逆に20代、30代の若年世代で各18.0%、13.5%と高い傾向にありました。

さらに、今回初めて「低栄養」についての認知を聞いていますが、全体では「内容までよく知っている」12.5%、「名前だけ知っている」32.3%、「初めて聞いた」55.2%でした。一方で「食事介護者あり世帯」について見ると順に、25.7%、35.2%、39.1%と、内容への理解が高くなることが分かります。また、年代別には、「よく知っている」は20代が14.5%、「名前だけ知っている」は60代以上が41.5%、「初めて聞いた」は30代が65.0%でした。

協議会では、今後もユニバーサルデザインフードについて、一層の普及活動を行ってまいります。

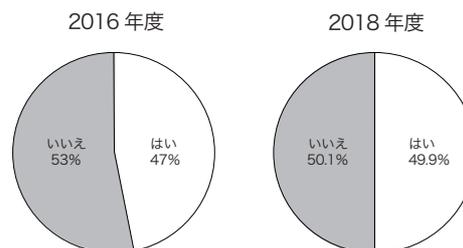
### 【調査方法等】

①調査方法 インターネットアンケート

②調査対象 インターネット調査会社（ネオマーケティング社）に登録している全国の一般モニター会員1,000人（20～60代以上・男女各100名）

③対象地域 全国

④調査期間 平成30（2018）年4月



あなたは介護食品が市販されているをご存知ですか

### 【会議、催事等の予定】

7月2日（月）役員懇談会（本会会議室）

7月11日（水）UDF（ユニバーサルデザインフード）の日

7月13日（金）第17回定期総会（ホテルメトロポリタンエドモント）

### 【UDF商品登録状況（2,025品目・5月末現在）】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	4	12	0	88	104
冷凍食品	302	247	698	30	0	1,277
常温食品	154	155	213	121	1	644
合計	456	406	923	151	89	2,025

### 【会員の異動（5月）】

退会1社 三井食品(株)

計75社（5月末現在）。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集していません。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>